

# 大田高校 人権だより

## < 1学期の人権教育 HR 活動報告 >

### 1年生・・・「コロナウイルス感染症」から学ぶ 「病気」と「差別」がにつながるのなぜ？

令和2年5月末、分散登校ながらも、やっと学校に生徒達が帰ってきてくれました。特に1年生は、入学式のすぐ後に学校が臨時休業に入った関係で、ほとんど授業もできず、不安なまま1学期の半ばを迎えることになりました。そんな中、6月の第1回人権教育 HR 活動では、日本赤十字社が作成した「コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」を用いて、不安が差別につながる時の心の動きを知り、負のスパイラルを絶つためにはどのような態度が求められるかを学習しました。以下は生徒の感想文の一部です。

\*\*\*\*\*

前々から「コロナ、コロナ」と言われて差別が起き、人同士が衝突していることに怒りを感じていた。それは恐怖から起きていることで人間の本能的な部分だった。今まで人間でなんで敵を間違えるのか疑問だったが、今日わかった。そう考えると「差別」なんてあって当然なのかな、なんて思ってしまうが、やはり許されることではない。難しい問題だ。今日の人権の学習はそういう点ではよい時間になったと思う。本当に差別意識があるかどうか、この不安定な精神状態の中で理解できる。

焦った時や怖いと感じている時は自分でも驚くような行動をして後悔することがある。差別をしてしまっている人も無意識で、わざと悪意を持っている訳ではないと思う。「意識」が今は互いを守る最大の防御策だと思う。

\*\*\*\*\*

SNS 上では心ない批判のコメントも多いので気をつけたいと思いました。医療現場や飲食店の人達の努力を忘れないようにしたいと思います。

\*\*\*\*\*

感染するのは病気だけだと思っていたら、気持ちや行動も感染していくということを今日の授業を通じて知りました。自分の何気ない一言や行動が周りに強く影響を与えてしまう可能性もあるので、考えて行動しようと思いました。

\*\*\*\*\*

皆自分の事で精一杯で他人のことを忘れがちになってしまうけれど、どんな場面でも自分が相手のために何ができるのか、してあげようとするのが大切だと思いました。差別をしてしまう人の気持ちも

なんとなくわかります。自分を守るためにとか、不安だからとか、でも、それじゃあいつまでも駄目だと思います。

\*\*\*\*\*

新型コロナウイルスの影響で今まで以上に不安や差別などが増えてきている中で、今、私達にできることは、正しい知識を身につけて、よりよく理解すること、デマ情報に惑わされないこと、お互いに支え合ったり、いじめや差別に気づくことなど、たくさんあることに気づきました。このことは、今の時期だけでなく、日常生活でも心がけるべきだと思いました。

\*\*\*\*\*

コロナウイルスという未知の存在が及ぼす影響が悪い連鎖を作っていることを知り、それについて皆で考えることで少しでもその連鎖を断ち切ることに繋がったと思いました。

自分以外の誰かの意見を聞くことで、考えが広がり、深まったような気がしました。「いじめ・差別」は気づくことが大事で、気づかなければどうすることもできない、だから自分の心の声を聴く力や、友人・仲間と共に支え合うことが大事であると改めて感じました。



### 3年生・・・公正な採用選考とは何か～就職差別を考える～

3年生はいよいよ進路決定の時期を迎えるタイミングで、「採用選考」について学びました。以前の「社用紙」がなぜ現在の「統一応募用紙」になったのか、その変化にこめられた思いについて考えました。また、島根県が企業や進学先に依頼している「就職差別につながる14事項」について学び、実際に質問された時にどう対処すればよいかを学びました。生徒からは、「不当な差別で苦しんだ人達が声を上げて当時の状況を変えようと行動してくれたおかげで今の私達はいやな思いをしなくてすんでいる。感謝しなければならない。」「正當に自分の実力が評価される社会であってほしい。」「自分が面接で差別的な質問をされたら絶対に答えないようにしたい。」「会社にとってプラスである採用方法がいいと思った。出身地などで採用・不採用を決めるのはマイナスでしかない。その人の持っている才能を見るのが一番いいことだと思った。」「今日の『面接時の公正な選考』についての話は中学生の時に一度先生から説明を受けたが、忘れていたところもあったので、再確認できてよかった。もし面接で不適切な質問をされたら『答えなかったら不採用になるかも』と思ってしまうかもしれないけど、そこは堂々と『答えられない』と言いたいと思います。」などの感想がありました。

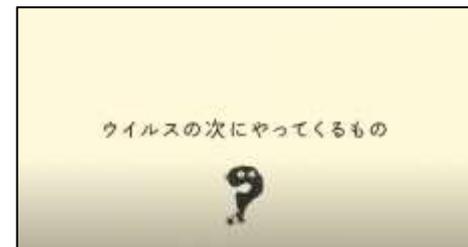


### <忘れないようにしよう！コロナウイルスに負けずに過ごすには>

コロナウイルス感染症により、病気だけでなく、いじめや差別、誹謗中傷など、重大な人権問題があるゆる場所に広がっています。私達が不安に飲み込まれず、落ち着いた生活を送るために、日本赤十字社が発信する2本の動画を紹介します。自分のふるまいを振り返ると共に、ぜひ家庭でも話し合ってみてください。

#### 1. 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～

日本赤十字社が、感染症からいじめにつながる心理をひもとき、不安に対してどのように対応すればよいか解説しています。県によっては、ナレーションをつけ、動画化もしています。



#### 2. ウイルスの次にやってくるもの

こちらも日本赤十字社が発信している動画です。誰が感染しているかわからない、そのような状況の中で、不安におおわれず、正しく知って正しくふるまうことの大切さを伝えています。進学・就職へ落ち着いて取り組んでもらえるよう、3年生にはこちらを見てもらいました。

### <2学期の人権・同和教育関連行事>

- 10月 8日(木) 3年生人権教育 HR 活動②
- 15日(木) 3年生対象人権講演会
- 11月 5日(木) 1年生人権教育 HR 活動②
- 12日(木) 2年生人権教育 HR 活動①

1学期は残念ながら他校の先生方や保護者の方に HR 活動を参観いただくことができませんでした。2学期は安心して諸行事が行われますよう、一日も早いコロナウイルス感染症への対策が確立されることを願います。

発行 令和2年8月4日  
大田高等学校 図書・人権・同和教育部